

## 平成 18 年度第 1 回備前市公共交通会議 議事概要

日 時：平成 18 年 10 月 20 日(金) 10 時～11 時 40 分

場 所：備前市役所 4F 委員会室 A・B

出席者：(敬称略)

(委員)西岡 憲康、武内 清志、杉原 慶悟、池田 隆之、大和 史明  
大本 栄一、有本 和彦、井川 勲、沖田 正嗣、宗包 早苗  
村上 礼子 以上 11 名

(専門員)松原 浩一、箕作 一朗、千葉 昭、和田 章

(事務局)企画課、教育委員会職員 4 名

欠席者：(敬称略)

井上 邦允

傍聴人：山陽新聞社、NHK

### 議 事

- ・委嘱状の交付
- ・会長・副会長の選出
- ・協議事項
  - (1) 運行計画について
  - (2) 運賃について
  - (3) 停留所について

## 【会議要旨】

会長に西岡憲康委員、副会長に有本和彦委員を選出

### 協議事項

運行計画・運賃・停留所について（一括説明）

### 《事務局からの説明》

- 宇野バス寒河・片上間が12月末をもって休止になることから、その代替運行については、12月1日から日生運輸が運行することで現在準備を進めている。また、合併により新たに福石(三石地区)から吉永病院前の路線を新設し、併せて既存の日生運輸路線のダイヤ見直しを行っており、いずれも12月1日から実施する。
- 公共交通会議については、道路運送法が10月に改正になり、地域内で新たに路線を増やすとか、運賃を変えるとか、その態様を変えるとか、大幅にダイヤを変えるとかの場合には、この会議で協議をし、地域のバス交通を、地域で考え、創り、育て、守っていく。この会議は、市が主宰で、市、事業者、住民、利用者、専門家を構成員としている。
- 設置要綱の説明
- 市内路線の説明（市内路線図参照）  
今回の申請は、日生運輸から提出されているが、運行に対する赤字補填を市が補助金支出していることから、市が説明し、補足は日生運輸がする。  
市の生活交通の基本的な考え方 「利用者の利便性の向上」「経費・補助金の削減」「エリアの特性及び既存の体系にとらわれない体系への再編」
- 実態調査の報告  
（日生運輸路線）平成18年1月に1週間職員が全便乗車して調査
  - ・平日1日あたりの利用人数 299人（その内小・中学生は47%）
  - ・土曜日は、68人、日曜日は、26人
  - ・1便あたりの平均利用人数 平日で6.9人(学校の登下校利用を除くと3.6人)
  - ・一般利用者の利用目的は、通院・買物が63%（宇野バス 寒河・片上間）平成18年3月に平日3日間、土・日職員が全便乗車して調査
  - ・平日1日あたりの利用人数 片上発 155.6人 寒河発 199人（その内小・中学生は17%）
  - ・土曜日は、平日に比べ一般客に比べ74%、日曜日では56%の利用
  - ・1便あたりの平均利用人数 片上発 9.2人 寒河発 11.7人
  - ・片上をまたいでの利用は3人に1人
- ダイヤ設定について
  - ・(月～金)(土・日・祝祭日)の2グループ
  - ・寒河・片上間 片上での宇野バスとの接続、小学校の登下校時間を考慮  
(宇野バス片上発岡山方面行) 概ね10分以内での接続予定。しかし、2便程度は、車両の関係から30分程度になる見込み  
(宇野バス片上着) 時刻表より15分から20分程度遅れて到着していることから、片上発をその程度あけて設定
  - ・既存路線 JRダイヤ、小・中学校の登下校時間を考慮して変更
  - ・車両数や運転手の就労時間の考慮
- 運賃について  
一律 1回の乗降につき大人200円、小人100円

1日乗り放題 大人500円 小人250円

➤ 停留所について

(福浦峠～片上間) 宇野バスと同じ場所。名前の変更はある。福浦峠と日生病院前を新設。

(福石～吉永病院前) 畑から金谷西間、木曽から吉永小学校間は、自由に乗り降りができるフリー乗降区間。

《質問・意見》

委員 伊里小の登下校は、今回路線化されたが、人数も多いので早く帰るとき、土・日の運転は今までどおりできるのか。

日生運輸 今までどおりする。

専門員 日生病院へ入らないのは、大型バスと理解してよいか

事務局 小型・中型バスは入れるが、大型は無理。また、診察時間も考慮している。

専門員 県道の占用申請はしているか

事務局 現在申請し、協議中

専門員 島からの定期航路との接続は、考慮されているか

事務局 今回のダイヤでは、考慮していないが、今後の改正では考えたい。また、日生駅前の船着場へ1便まわるようになったことから、JR日生駅、日生病院にも近くなり、それらを利用する人の利便は向上している。

委員 停留所(福石～吉永病院前)で、土師神根入口はあぶないのでは。土師神根の人は、五石のほうへ来る。こちらで一緒にすればいいのでは。

事務局 近日中に、現場で確認する。(後日、市、備前警察署、日生運輸、委員と現地で協議し、場所を五石方面へ変更した)

委員 福石線のフリー乗降は、どこでもよいのか。

事務局 地図で示している区間であれば、どこでも乗降できる。小学生は、できるだけまとまって乗降して欲しい。

委員 子供の定期代は、100円の半額になるのか。

日生運輸 100円の半額ではないが、詳しくは決まっていない。1ヶ月、3ヶ月定期で決めていく。

日生運輸 障害者は、手帳の提示によって半額で考えている。意見を聞いた上で決めたい。小額の場合なのでどうかという考え方もある。

専門員 運送約款により標準的には決められているが、4路線事業者、21路線事業者と改正道路運送法のこともある。

会長 運賃は、市内での格差があるので市が負担することになるが、今後の検討課題である。

委員 1日乗り放題はどのように表示するのか

日生運輸 どのようなものにするか、現在検討中。経費をかけないような方法で考えたい。

委員 周知の方法は

事務局 バス車内への掲示、個人用(携帯用)ダイヤ、まったく新しい路線は、地域へバス停留所と時刻表の回覧を考えている。来月号への広報は、時間的に無理があるので、12月号で考える。また、マスコミでの報道も願います。

委員 PRのため新聞折込するのか

日生運輸 費用面のこともあるので今後協議する。

委員 JRのダイヤ変更は、大体3月頃にあるが、あればどうするのか

事務局 どうしても変える必要があるものは、対応する。また、簡易な変更であれば、利用者の意見も聴いて、幹事会に諮り委員には報告する。

専門員 行政が補助金を出すのも限界がある。企業も努力して欲しい。また、バス停留所の清掃への住民協力、バス利用への呼びかけなどに地域全体で努めて欲しい。

会長 料金の均一化により、予算的に負担が増加するが、利用者が増加すれば、地域の活性化の意義はある。

委員 赤字の補填をすることから、どれだけ企業努力したか評価していけたらと思う。

会長 バス停の調整は残るが、了解したものとしてよろしいか

委員 よろしい

(その他の意見)

委員 宇野バスの停留所はそのまま活用できるのか。

宇野バス 当分の間は、置いておく

日生運輸 片上のバス待合所 トイレを汚されたり、ガラスを割られたりするので撤去したい。

専門員 利用者の利便を考慮して残すべきだ

日生運輸 現在バス会社が清掃等しているが、地元の人、ボランティアでもしてもらえないか

委員 小学生の徒歩通学者のバス利用と市からの補助について

会長 バス利用は、各学校の判断もある。補助については、今後検討していく。

新庄・畠田地域はどうするか、デマンド利用を活用するのかということもあるが、地域の要望を踏まえて検討する。

日生運輸 既存路線があるところにデマンドされると今ある交通機関を利用しなくなるので、それも含めてよく考えて欲しい。

副会長 閉会のあいさつ